

いっぱい緑にかこまれた〈文庫〉の小部屋のあるおうちで  
書くのが好きになる  
学ぶのが楽しくなる

# 音読こくご塾

夏休み特別集中ワークショップ

「楽しく書く」作文(宿題)・小論文対策

2017年8月15日(火)・16日(水)

午前9時半～12時半(午後3～5時にも自習の場を開きます)

学びは楽しさのなかから生まれます。楽しさは身体のなかから生まれます。

真の知性は身体性と密接に結びついているのです。

声をとおしてからだを見、からだをとおして自分のほんとうを知り、自分自身の表現を見つけましょう。

小手先のテクニックではない、自分にしかできない表現を、  
身体性と表現の関係性を熟知した、プロの文筆家が指導します。

対象◎ 小学1年生～高校3年生

会場◎ 三鷹市大沢5丁目13-6(栗山宅)

※大沢家庭文庫の関連イベントではありません。

参加費◎1日のみ4500円／2日間8000円

主催◎つなぐ環ch(栗山のぞみ)

協力◎音読療法協会 [www.voicetherapy.org](http://www.voicetherapy.org)

お申し込み◎[tsunaguwach@gmail.com](mailto:tsunaguwach@gmail.com)

または090-1702-0141(栗山)へ

過去開催時記事が読めます



2016年



2014年

塾長・講師：水城ゆう(みずき・ゆう)

作家、音楽家、朗読演出家。NPO法人現代朗読協会代表。音読療法協会オーガナイザー。京都でジャストリオを率いてバンド活動、地元・福井県のラジオ、テレビ局で番組司会、構成作家等を務めた後、1986年に徳間書店よりSF冒険小説で小説家デビュー。ピアノの即興演奏家としてカルメン・マキ、鈴木重子、酒井俊らと共演。番組制作者・現代朗読演出家として千人超の実演家の観察・指導の経験から音読療法を確立、セラピスト養成の傍ら学校・被災地・カフェ等で指導・サポートを行う。小説のほか「共感的コミュニケーション入門編」「音読療法の基礎」「音読・群読エチュード」「水城式ジャズの聴き方」など著書多数。

講師：野々宮卯妙(ののみや・うたえ)

20年にわたり雑誌、PR誌、単行本等の執筆・取材・編集に携わる。著書に「親子で遊ぼう! はじめてパソコン」(ブックマン社)、「ママとキッズのパソコンブック」(主婦の友社)等。詩人としてポエトリースラムジャパン(詩人の朗読コンテスト日本大会)2015に出場、ファイナリストに。朗読家としてカルメン・マキ他音楽家らとの共演をはじめ公演・ライブ出演多数。共感的コミュニケーション(NVC)ファシリテーターとして全国各地で講師を務める。音読療法士として音読療法を使ったメンタルケア・介護予防ワーク等を行う。日本平和学会員。慶應義塾大学法学部政治学科卒。